

(HP情報公開)

杏林大学医学部（杏林大学白菊会）に献体された方のご遺族の皆様へ
杏林大学における医学研究にご協力をお願い申し上げます

令和6年6月20日

杏林大学医学部では、献体を用いて「N-ビニル-2-ピロリドン固定献体における皮膚、鼓膜・耳小骨可動性の測定(パイロットスタディー)」に関する研究を実施しております。

上記の研究は、杏林大学医学部倫理委員会の審査による医学部長の承認を得たうえで行っており、その内容については「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定によって情報公開することが必要とされております。

研究課題名	N-ビニル-2-ピロリドン固定献体における皮膚、鼓膜・耳小骨可動性の測定(パイロットスタディー)
研究機関名	杏林大学
研究責任者	医学部耳鼻咽喉科学・准教授・増田正次
研究代表者	※多機関共同研究で、本学が研究代表機関の場合のみ記載必要
研究者	長瀬美樹（肉眼解剖学）、齋藤康一郎（耳鼻咽喉科学）、濱之上泰裕（同）、齋藤伸夫（同）、村上諄（同）、竹江咲紀（同）
研究目的	本研究は耳科手術の技術向上に寄与する研究です。多くの耳科手術医を志す医師に最良の教育環境を与えることが可能となります。パイロットスタディーでは、特殊な計測器により献体の皮膚硬度、鼓膜・耳小骨可動性がどれほど詳細に測定可能かをまず分析します。その上で、パイロットスタディーをさらに大規模なものへと発展させる妥当性について検証します。
研究期間	倫理委員会承認日～2025年6月1日
対象者	2025年5月1日までに献体された方
使用情報	年齢、性別、身長、体重、死因、耳疾患の既往、上腕周囲長、上腕三頭筋部皮下脂肪厚。母指球、臍部周囲、側頭部、乳様突起先端(耳後部に相当)の皮膚硬度。鼓膜・耳小骨可動性。

研究成果は学術集会や学術雑誌に発表されますが、献体された方を特定できる情報は研究者に対しても秘匿されており、研究成果発表に際しても利用されません。

この研究の対象者となることをご了解頂けない場合

この研究について、ご不明の点やご了解頂けない点がある場合は下記にご連絡ください。上記研究期間中であれば、いつでも対象者となることを拒否されることが可能です。

お問い合わせ先：杏林大学医学部肉眼解剖学教室

担当者：長瀬美樹（電話 0422-47-5511 内線 3410）